

## 「第12回 九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 熊本」

熊本大学では、令和3年9月17日に男女共同参画に関する意識醸成を目的とした「第12回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム」を九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク（Q-wea）と合同で開催しました。本学の学生・教職員のほか、一般の参加者を含めた約180名が参加しました。

九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク（Q-wea）は、文部科学省による女性研究者支援事業に携わる大学等で構成されており、平成21年度より年1回のシンポジウムを参加機関の持ち回りで開催しております。

本シンポジウムは、テーマを「ダイバーシティ推進に向けた大学からの発信—戦略から実践へ—」とし、女性研究者がその能力を最大限発揮できるように、高等教育機関である大学がどのような戦略を立て、上位職や管理重要職への積極的な女性登用をいかに進めていくかを考える機会とすることを目的として開催されました。

基調講演では、今年、理事の過半数が女性になった東京大学のダイバーシティ・国際担当理事の林香里教授に講演いただきました。また、参加機関の学長のビデオメッセージもあり、お互いに刺激を得ることができ、有意義なシンポジウムとなりました。



左写真：シンポジウムに参加する前田ひとみ副学長（男女共同参画担当、左）

右写真：シンポジウムの様子